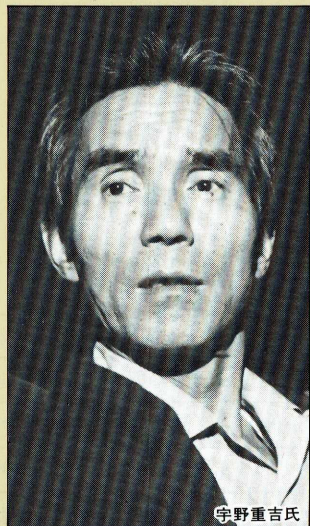


●劇団からっかぜ

演劇教室

生・徒・募・集



宇野重吉氏



菅野忠彦氏

充実の講師陣。 この地に自立する演劇人のための勉強会。

●劇団からっかぜは、浜松で、昼間働きながら演劇をやっている劇団です。再来年には、創立30周年を迎えます。ちょうどこの年、浜松に500名規模の二つの劇場ができます。久しく望んでいた小さな劇場が30周年の年にできる、このめぐり合わせに、私たちは感激しました。

●しかし、未だ私たちの舞台は貧しく、劇場の中身を埋める創造の力は、残念ながら育ちきれてはいません。

●今回の「演劇教室」は、創造力を身につけたという、私たち自身の希みから出発しました。

しかし、多くの労力と時間を費やし、外部講師の来浜を得て開く「演劇教室」を、劇団内勉強会にとどめておくのはもったいないことです。折角の機会ですので、多くの人にも学んでいたきたいと考えました。他の自立劇団の方、これから演劇をやりたいという方も、どうぞ遠慮しないで参加してください。

●この「演劇教室」を学びの舎として巣立った、この地に自立する演劇人たちが、1984年の劇場開設を機にどんな花を咲かせるのか、市民のみなさんも注目し、見守ってください。

●募集要項●

募集人員●50名 期間●1982年10月～1983年3月（毎週水曜）午後6時半～9時 会場●青年婦人会館・その他 応募資格●年齢・性別・経験を問いません 参加費用●入学金1000円・施設費2000円・授業料2500円（月額）／計18000円 支払方法●原則として前納制・10月6日（開校日）にご持参ください 応募締切●1982年9月末日 応募方法●右の申込書をハガキに貼って、〒435浜松市中田町595-2番地 劇団からっかぜ・「演劇教室」係宛お送りくださるか、または、申込書を直接劇団か浜松演劇協（田町三展ビル内）までおとどけください。

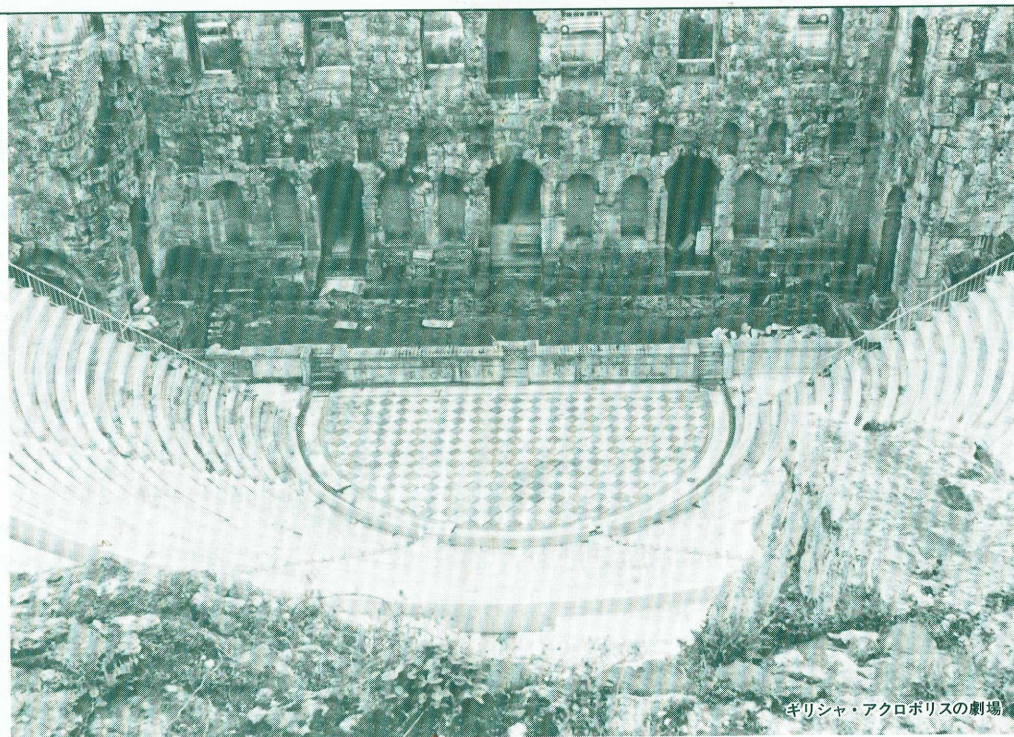
でのお問い合わせは ●0534-63-6011

●申込書●

おなまえ	(男・女 才)
おところ	☎
勤務先	☎

演劇教室

劇団 からっかぜ



ギリシャ・アクロポリスの劇場

●劇団からっかぜ事務局●

〒435 浜松市中田町595-2

☎0534-63-6011

開校式(「演劇教室」についての説明・参加者自己紹介)	演出のはなしⅠ……………早川昭二(劇団銅羅)
戯曲を読むⅠ(チャーホフの面白さ)……………宇野重吉(劇団民芸)	演出のはなしⅡ……………細田寿郎(京浜協同劇団)
戯曲を読むⅡ(作品未定)……………萩坂桃彦(「演劇会議」編集長)	舞台美術のはなし……………布施佑一郎・宮下公平(劇団からっかぜ)
戯曲を読むⅢ(シェイクスピアを読む)……………栗木英章(劇団名芸)	俳優の喉・声・ことばⅠ～Ⅴ……………山崎欣太(劇団静芸)
戯曲を読むⅣ(ゴーリキーの「どん底」を読む)……………深沢大助(劇団からっかぜ)	朗読についてⅠ……………中沢研郎(京浜協同劇団)
戯曲を読むⅤ(作品未定)……………平井新(劇団からっかぜ)	朗読についてⅡ……………宮脇章太郎(劇団からっかぜ)
演技のはなしⅠ……………菅野忠彦(文学座)	演劇の体操Ⅰ～Ⅱ……………佐山陽規(こんにゃく座)
演技のはなしⅡ……………松熊信義(五月舎)	日舞手習いⅠ～Ⅱ……………宮本恵子(舞踊家)
演技のはなしⅢ……………藤沢薫(劇団京芸)	卒業式(卒業証書の授与・その他)
演技のはなしⅣ……………汲田正子(劇団はぐるま)	※実際に作品をつくる「制作コース」を並行して設けます。詳しくは担当者まで。